

久里浜こころのケアチーム 活動報告

47班

小出・村井・北湯口

活動概要

<活動期間>

平成24年 2月7日(火)～2月10日(金)

<活動場所>

岩手県大船渡市

<47班 構成>

医師：小出

看護師：村井

心理士：北湯口

活動内容 2月7日(火)

9:00 東京駅



12:00 一関駅到着



15:00 大船渡市合同庁舎 カルテ回収



16:00 保健センター カンファレンス

16:30 末崎小仮設

活動内容 2月8日(水)

9:00

↓
大船渡中学校、末崎町小学校仮設、末崎町中学校
仮設、末崎町太田訪問

13:00 昼食

↓
末崎方面仮設

16:30 保健センター ミーティング

↓
書類作成

18:00 ホテル着

活動内容 2月9日(木)

9:00

三陸町吉浜訪問、大船渡町明神前訪問



13:30

昼食



16:30

こころの相談室



17:30

書類作成

18:00

ホテル

活動内容 2月10日(金)

9:30

大船渡町宮田仮設訪問 本人不在(電話連絡)
大船渡町明神前訪問

11:00

書類作成

12:30

保健センター、合同庁舎へ挨拶
帰路

19:00 東京駅

ケース概要

訪問数 10件 (アルコール問題 5件)

こころの相談室 1件

	2/7	2/8	2/9	2/10	計
避難所訪問数	—	0	0	0	0
仮設住宅訪問数	—	4	0	0	4
個人宅訪問数	—	2	3	1	6
こころの相談室	—	—	1	—	1
計	0	6	4	1	11

大船渡の活動

音敵び出逢いのお手伝い

しあわせどっとこむ

～出会い支援事業～

参加者募集!!

東日本大震災により誰もが安心して生活続けられる、「病」「高齢者」「せすらび」のあるまぢづくりの大船渡が実現されるようになります。このような状況の中、復興支援のひとつとして、ともに過ごしてしまおうパートナーとの出逢いの場を提供するパーティーを開催します。

男性30人 & 女性30人

日時 平成24年3月3日土 pm5:00受付 pm6:00開会 pm9:00終了

場所 アーバン大船渡 大船渡市立初町大船軒38-22 電話0192-25-1300

会費 男性4,000円 女性2,000円 (参加費のみ。飲み物等は各自持ち込み。各社協賛) ※立食、アルコール等、パーティー形式

年齢 20代～30代の独身の方 (男性は既婚者内へ誘引または敬避する方。女性は無関係なし)

主催 「しあわせどっとこむ」実行委員会
【協賛団体】 大船渡市立初町、社会福祉法人大船渡青年会議所、大船渡市立初町青年会、社会福祉協議会、社会福祉法人大船渡市社会福祉協議会、社会福祉法人大船渡市社会福祉協議会

共催 社会福祉法人大船渡市社会福祉協議会

問合せ、応募先
 9:00～17:30 参加申込み期間：1月20日～2月20日まで
 社会福祉法人大船渡市社会福祉協議会 〒122-0076 埼玉県大船渡市立初町字下欠125-12
 TEL0192-27-0001 FAX0192-27-0800 e-mail: ooshakyo@cocoa.ocn.ne.jp

▶ <http://ofunato-shakyo.com>

会場案内マップ

音敵び出逢いのお手伝い

実年世代しあわせどっとこむ

～出会い支援事業～

参加者募集!!

東日本大震災により誰もが安心して生活続けられる、「病」「高齢者」「せすらび」のあるまぢづくりの大船渡が実現されるようになります。このような状況の中、復興支援のひとつとして、ともに過ごしてしまおうパートナーとの出逢いの場を提供するパーティーを開催します。

男性15人 & 女性15人

日時 平成24年2月25日土 pm4:30受付 pm5:00開会 pm8:00終了

場所 千葉幸会館 大船渡市立初町大船軒38-6 電話0192-27-0453

会費 男性4,000円 女性2,000円 (参加費のみ。飲み物等は各自持ち込み。各社協賛) ※立食、アルコール等、パーティー形式

年齢 40代～50代の独身の方 (男性は既婚者内へ誘引または敬避する方。女性は無関係なし)

主催 社会福祉法人大船渡市社会福祉協議会

問合せ、応募先
 9:00～17:30 参加申込み期間：1月20日～2月13日まで
 社会福祉法人大船渡市社会福祉協議会 〒122-0076 埼玉県大船渡市立初町字下欠125-12
 TEL0192-27-0001 FAX0192-27-0800 e-mail: ooshakyo@cocoa.ocn.ne.jp

会場案内マップ▶

▶ <http://ofunato-shakyo.com>

会場案内マップ

事例(まとめ)

- 「取り残された」ケース(未だ津波の被害に苦しんでいる)、家族関係が悪化したケース(津波によってともに生活せざるを得ない状況になった)の訪問があった。
- 飲酒日記の記入(飲酒量に気を配る)や信頼関係が築けると飲酒量も減少傾向。
- 「1週間に一回でも来てくれるってわかっているから、安心します」という言葉をかけて下さる方もいた。

まとめ①

現在

- 食生活の問題。大船渡市では震災前から、食生活について問題があったが、震災後にさらに悪化したとのこと。それに伴い、全体的に血圧が上がっているという結果も出ているという(食生活と血圧の因果関係は調査中とのこと)。
- 失業者の問題(管内で約3000人)
- 介護施設が一杯。介護士さんも「疲れ」を訴えている人が急増中。

まとめ②

今後

- 2月12日から「女性センター」開設。3月の撤退までは、子育て上の悩みなど久里浜にも相談を依頼したい。市としては、助産師さんたちだけでは対応できないケースが予想されるため、次に繋げるところはありますよ、という後ろ盾？を示すためとのこと。
- 撤退後の援助の問題。

まとめ③

変化

- 瓦礫は撤去されて集積所に集まっている。が、集積所に集められた瓦礫は減っていない印象。
- 4カ月ぶりの派遣だったが、保健センターの雰囲気の変化を感じた。保健師さんの笑顔が増えたように思った。